

問い合わせ内容	入港見込数や市場動向等 について	港湾整備や入港時の安全 対策等について
担当課	観光振興課	港湾課
担当者	宮本	渡辺
内線	2641	3057
ダイヤル	895-2641	894-3057

長崎港における平成27年クルーズ客船入港見込数と
「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」の入港について

1. 長崎港における平成27年の入港見込みについて

- (1) 現時点で130回を超える入港予約が入っており、入港数・乗客乗員数ともに、これまでの記録（平成26年の75回、約20万人）を大幅に上回る見通し。
(2) 近年増加傾向にある中国発着クルーズの入港は、昨年（33回）を大幅に上回り、80回超となる見通し。

上記予約数は入港未確定の客船を含む予約総数のため、今後増減する可能性があります。

【入港数増加の主な要因】

これまで中国にクルーズ客船を配船していたロイヤル・カリビアン・インターナショナル社（本社：米国）やコスタ・クルーズ社（本社：イタリア）が配船隻数を増加させること。また、昨年から運航を開始したHNAクルーズ社（本社：中国）、続いて今年から本格的に運航を開始する中国資本の新規船社も複数あり、中国のクルーズ市場が急拡大すること。

長崎港はクルーズ客船専用岸壁及び国内最大級となるCIQターミナル（最大20ブースで審査可能）を有しており、大型化が進む中国発着クルーズ等をスムーズに受入れることが可能であること。

近年、中国市場で主流となっている旅行会社によるチャータークルーズの取り込み強化など、積極的な誘致活動が奏功していること。

2. 「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」の入港予約について

- (1) ロイヤル・カリビアン・インターナショナル社が、昨年10月に建造した新船「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」を市場拡大が進む中国に配船。同船は、日本に入港するクルーズ客船としては過去最大規模。
(2) 長崎港には、7月19日を皮切りに、12月までに12回の入港予約が入っており、現在、同船の受入に向けて、入港時の安全対策等について検討中。

【シップデータ】

船名：クァンタム・オブ・ザ・シーズ
総トン数：167,800トン
全長：348m
全幅：41m
乗客定員：4,180人
就航年：2014年



提供：ロイヤル・カリビアン・インターナショナル